

院内情報誌

【ER・ICU ニュース】

発行者: 救急診療科・集中治療部

<発行履歴>

Vol.53	4月8日	Vol.59	8月19日	Vol.65	10月31日
Vol.54	4月11日	Vol.60	9月9日	Vol.66	12月4日
Vol.55	5月12日	Vol.61	9月10日	Vol.67	12月4日
Vol.56	5月22日	Vol.62	9月13日	Vol.68	2月3日
Vol.57	7月2日	Vol.63	9月17日		
Vol.58	7月9日	Vol.64	9月25日		

【ICT ニュース】

発行者: 感染対策チーム

<発行履歴>

第5号	5月1日
第6号	7月25日
第7号	11月27日
第8号	12月24日



ICT ニュース

第1号

感染性胃腸炎の季節がやってきました！！

ノロウイルス等の感染性胃腸炎症状を訴える患者の報告が増えてきています。皆さん、十分ご注意ください。

【ノロウイルスの特徴】
 かなり多くの患者の発生による食中毒がよく知られていますが、わずかな量のウイルスが口に入るだけでも感染するため、ヒトからヒトへの感染力が強いウイルスです。数日からかけて流行します。

【潜伏期間】
 1～2日（平均36時間）

【症状】
 突然の嘔吐・下痢、下痢、腹痛、発熱（軽度）、通常これらの症状が1～2日続きます。

【感染経路】
 発症から症状出現後3～7日間
 ・症状が消失した後も3～7日間までは、便中にウイルスが排泄されるため二次感染の注意が必要です。
 （食器によっては、「1ヶ月以上ウイルスが検出される」との報告もあります）

【感染対策】
 感染予防対策と感染拡大対策

もし、職場や下宿で感染したら・・・

- ① 吐瀉物、マスク、手袋を準備
- ② 吐瀉物の処理にペーパータオルをかける
- ③ その上から、次亜塩素酸ナトリウムを撒布し待つ

0.02%次亜塩素酸ナトリウムなら3分
 0.1%次亜塩素酸ナトリウム（塩ハイター）なら1分
 でノロウイルスは死滅

④ 次亜塩素酸ナトリウムをききましたペーパータオルを使って汚染箇所を拭き取り、ビニール袋に入れしっかりと口を閉じる。

⑤ 汚染箇所を消毒する（汚染箇所より近く、中心に向かって円を描くように）

ノロウイルスはアルコールが効果的ではありません。手洗いや塩素系の漂白剤と併用した消毒は、効果的であるとされています。



感染性胃腸炎の症状がある場合は・・・
 就業制限はありませんので、休職にお任せください。下痢が続いている場合は、トイレ使用後の便座やドアノブの消毒を！！
 わかりにくいことがあれば、ICUまで、相談発生（電話や来院）がある場合はICUに報告をお願いします。

感染性胃腸炎の流行時期は、通常
 休暇中での患者も、できる限り感染源の他に、みんなが手を入れたる容器は注意しましょう。

2018.12.24
感染対策チーム

＜発行履歴＞

＜発行履歴＞

【薬剤情報】

発行者: 医薬品情報管理室

<発行履歴>

No.225	4月23日
No.226	6月25日
No.227	7月23日
No.228	8月27日
No.229	9月24日
No.230	10月29日
No.231	11月26日
No.232	12月24日

【薬剤情報 No.232】

2019年12月24日
大塚市立病院
医薬品情報管理室

医薬品・医療機器等安全性情報【No.307】(抜粋)

採用書 臨時採用書 既出採用書

1 医薬品副作用被害救済制度の概要と医薬品の使用が適正と認められない事例について

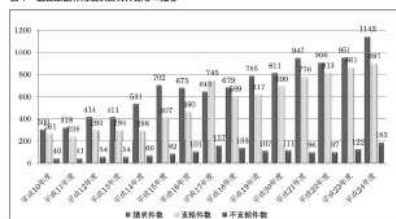
1. はじめに

「医薬品副作用被害救済制度」(以下、「本救済制度」という。)は、医薬品(一般用医薬品を含む。)が適正に使用されたにもかかわらず副作用が発生し、それによる疾病、障害等の健康被害を受けた方を迅速に救済することを目的として、医薬品製造販売業者の社会的責任に基づく拠出金等を基盤とする公的制度として昭和50年に創設されました。

圖1のとおり、近年、本救済制度における請求件数、支給件数は増加しており、昭和56年の創設から平成34年度末までに12,000件を超える支給決定がなされています。しかしながら、一般国民における本救済制度の認知率^{※1)}は「知っている」5.3%、「名前は聞いたことがある」13.4%、合計20.7%であり、医薬品の副作用による健康被害を受けた方にも本救済制度の存在を知らないために請求に当たらない方がいることと推察されます。このような健康被害者にも本救済制度を周知していただけるよう、本救済制度について情報提供していただくとともに、健康被害者の請求に当たり、添削書の作成等にご協力ください。

※1) 「平成34年度医薬品副作用被害救済制度に関する認知度調査」による。
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai/ninchi/h34_ninchi_gaiyoshu.html

図1 医薬品副作用救済給付件数等の推移



※ 件数は累年数であり、最終の請求年度以降に同一の薬品による健康被害と認められる場合は順次に1人として数えられない。
※ 請求の段階から支給決定まで一定の時間を要するため、右図に示した請求件数と支給・不支給件数の合計は一致するものではありません。

- 1 -

【助産師通信】

発行者: 5B 病棟助産師

<発行履歴>

Vol.14	4月16日
Vol.15	8月1日
Vol.16	11月10日
Vol.17	1月6日

謹賀新年
あけましておめでとうございます
謹んで新春のお慶びを申し上げます。

お産後の食事がグレードアップ!

「お産後の食事は体にいい!」をコンセプトに食事内容が変わりました。

お産後

- ・お産後1日に限り41
- ・異食予防
- ・ビタミン・ミネラルを豊富
- ・夜中、お産が終った時に食べられる
- ・おやつ付き

お産後

院内助産師会!! 意見書提出会!!

5B病棟助産師会

当院の助産師会・院内助産の発
達に、産科看護部長から各
助産師が来られました。

「少しでも院内助産の内容を盛り
入れて、産科看護に携って自分の
病院でもお役に立ちたい!」とコメン
トを頂きました。

【e-Hospital】

発行者: 医療情報システム室

＜発行履歴＞

No. 4	6月3日
No. 5	7月11日
No. 6	8月5日
No. 7	9月9日
No. 8	10月18日
No. 9	11月8日
No.10	11月20日
No.11	11月25日
No.12	12月12日
No.13	12月16日
No.14	12月24日
No.15	12月25日
No.16	1月7日
No.17	2月6日
No.18	3月5日
No.19	3月27日



【OS 管理室通信】

発行者: OS 管理室

＜発行履歴＞

No.2	5月13日
No.3	8月6日



＜発行履歴(年4回発行)＞

第 6 号	10 月 28 日
第 7 号	12 月 12 日

[illegible]

＜発行履歴＞

Vol. 9	12 月 25 日
Vol.10	3 月 11 日



緩和ケア NOW!

第1回 緩和ケアの基礎と実践

司会者 橋上光生



緩和ケア病棟、2月にナース研修会と緩和ケア病棟、研修の感想を聞きました。

お疲れ様です。緩和ケア科で3ヶ月お勉強になった2年目研修医の橋上光生（ひがみ）です。

緩和ケアでの研修で印象的だったのは、病々の患者さんやご家族一人一人の既往や価値観を細かく伺い方だったこともちろんありますが、それと裏表するよう個に入り込んでいった経過が職員全体に顯れられていたことです。病状に入るまで年長や先輩、あるいは後進に教わった治療やケアなどその人自身を尊重しているよう、あたかも患者にお呼ばれしたような気を感じました。身体は物々しさがあっても、凄まじい経過を経て病室に受け入れ、その最中でセーレンシアに迎えられるとしても、患者さんを囲むそれがこの本心を聞けば、目を伏せちゃってあらう瞬間に思いを馳せたいことを覚えています。

そして同時に考えたのは、家族や近い友人、あるいは患者など愛する人間には多岐な面がありますが、最期を迎えるならば思いよきよき人間が望む、という善き善き本人の思いの尊重です。「何」というものが理想でなく、確かな現実だとしての。何事もきいていっても愛人の様子は見えがたいものだということです。1ヶ月間かけて見ていられたいんだと思います。本業になりますが、ここまでお読みいただき本当にありがとうございます。

＜発行履歴＞

4月号	4月26日
5月号	5月21日
6月号	6月18日
7月号	7月26日
8月号	8月30日
10月号	10月22日
11月号	12月3日
1月号	1月31日
3月号	3月18日

[illegible]

【DPC かわら版】

発行者: 医事課

＜発行履歴＞

No. 1	6 月 1 日
No. 2	7 月 1 日
No. 3	7 月 17 日
No. 4	8 月 15 日
No. 5	9 月 26 日
No. 6	10 月 25 日
臨時号	10 月 31 日
No. 9	11 月 15 日
No.10	1 月 16 日
No.11	1 月 17 日
No.12	3 月 17 日
No.13	3 月 20 日
No.14	3 月 24 日

DPCかわら版



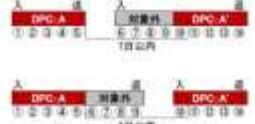
★7日以内の再入院(再転院)ルール★
 先月お知らせしましたが、下記のようなパターンは、「一連」の入院となりますので、ご注意ください。

2014/3/24
 (2015年度版14)
 医事課



【「7日以内」に係る日数の考え方】

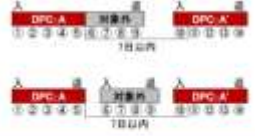
- 直近のDPC算定病床を退院した日
- DPC算定病床へ再入院した日



【「同一傷病」の考え方】

- 前回入院時の「医療資源を最も投入した傷病名」と
- 再入院時の「入院の契機となった傷病名」によって、DPC上2桁コード(MDC)が同一である場合、一連とする。

詳しくは各ページをご覧ください。



【入院期間への日数算入の考え方】

退院期間は入院期間に算入せず、転院期間は入院期間に算入する。

～再入院時に急性期後援に該当する算定方法を算定する症例については、当該ルールの適用を除外すること。
 なお、その場合は急性後援に該当し、急性後援期間に算定されること。
 前入院期間の「急性後援を最も投入した傷病名」と再入院時の「急性後援を最も投入した傷病名」が一致するにも関わらず、「入院の契機となる傷病」が異なる場合は、急性後援を別算定に算定すること。

【相談・支援ニュース】

発行者: 地域医療連携室

＜発行履歴＞

第 5 号	4 月 19 日
第 6 号	6 月 20 日
第 7 号	8 月 20 日
第 8 号	10 月 18 日
第 9 号	12 月 20 日
第 10 号	1 月 30 日
第 11 号	2 月 20 日

相談・支援ニュース

第11号
 2014年2月発行

発行所: 地域医療連携室

今回は、**高齢者の住まい**について紹介します。

私たちは、高齢者が住み慣れた地域で暮らせるよう支援したいと考えていますが、様々な理由で独居高齢者が増えるケースが増加しています。独居高齢者のための入居を多く、高齢者の転居に必要となる施設(ケア)ニーズを把握します。

そこで、高齢者の転居について紹介します。高齢者住宅は下表①～⑤、介護保険施設は⑥施設(2ページ)表ります。

●●● 高齢者住宅の概要 ●●●

	① サービス付き高齢者向け住宅	② 有料老人ホーム	③ 介護老人ホーム	④ 特養老人ホーム	⑤ 認知症高齢者のグループホーム
基本的位置	高齢者のための施設	高齢者のための施設	医療的・経済的に選定した高齢者のための施設	認知症高齢者のための施設	認知症高齢者のための施設
対象者	次のいずれかに該当する高齢者・家族等 ・65歳以上の者 ・要介護・要介護認定受けていない60歳未満の高齢者	老人 ・老人福祉法上、老人に関する事項がないため、原則において任意入居となる	65歳以上の者であって、介護上及び経済的理由により要介護に該当する者が居ることを要する	身体機能低下等による自立した生活が困難な者として半室である介護施設である者であって、介護による保護を受けることが必要と認められる者	認知症高齢者であって認知症の程度と介護の必要性が厚生労働省の定める基準に該当する者
施設の運営形態	営利	営利	営利	営利	営利

(注)⑥施設(2ページ)表ります

発行者:臨床検査部広報担当

＜発行履歴＞

創刊号	4月15日
2号	4月24日
3号	5月22日
4号	6月24日
5号	7月18日
6号	9月2日
7号	10月24日
8号	11月21日
9号	11月29日
10号	12月17日
11号	12月27日
12号	2月27日
13号	3月20日



【せん妄撲滅ニュース】

発行者:集中ケア認定看護師 山田親代

＜発行履歴＞

創刊号	4月26日
第2号	5月7日
第3号	11月26日

【回りハ通信】

発行者: 6A 病棟

回りハ通信グループ

＜発行履歴＞

夏号	8月1日
秋号	10月15日
冬号	12月17日



【副科長会時間外ダイエツプロジェクト】

発行者: 副科長会コスト削減グループ

＜発行履歴＞

No.1	7月17日
No.2	8月21日
No.3	9月18日
No.4	—
No.5	12月3日



【NST ニュース】

発行者: NST リンクナース会

＜発行履歴＞

No.1	9月13日
No.2	9月30日
No.3	10月18日
No.4	10月25日
No.5	11月15日
No.6	11月22日
No.7	11月29日
No.8	12月10日
No.9	12月17日



【ポジショニング通信】

発行者: 褥瘡対策委員会

ポジショニンググループ

＜発行履歴＞

No.1	9月21日
No.2	11月4日
No.3	2月19日
No.4	3月1日



平成 25 年度の動き

平成25年度の主な出来事

病院内の出来事



・4月1日(月)
患者総合支援センター
開設

・皮膚科内で形成外科診療スタート



・NPO 法人卒後臨床
研修評価機構による
臨床研修の認定取得



・4月10日(水)
配膳車および食器更新

適温配膳車『デリカート』
(パナソニック社製)



・本館棟9階
会議室3竣工
(旧大浴場)



・別館棟地下1階
医事課作業室竣工
(旧神経難病臨床研究所)



・一般社団法人日本病院会
QI(Quality Indicator)
プロジェクト参加

病院の話題

・4月9日(火)
大津市民病院付属看護専門学校 第30期生 入学式



・患者相談支援室が紹介される



4月14日(日)京都新聞



4月16日(火)中日新聞



4月25日(木)読売新聞

病院内の出来事



・5月15日(水)
「看護の日」
イベント開催



・5月23日(木)
本館棟1階
ER第4診療室
改修工事竣工



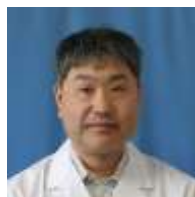
・5月23日(木)
絵画を寄贈いただく
作品名:『秋韻』(油彩 80号)
作者:かとう医院
院長 加藤孝和様
展示場所:別館2階
エレベーターホール

・5月30日(木)
ボランティアさんによるロビーコンサート開催
林絵美さん(トロンボーン)・水田温子さん(キーボード)
会場:本館棟1階正面玄関ロビー
※ステージ装花:病院ボランティア 浜田辰郎さん



病院の話題

・神経内科診療部長 廣田伸之医師が紹介される



5月5日(日)読売新聞

・5月17日(金)

「看護功労者知事表彰」受賞
看護局参事

上田かよ子(左2人目)

「滋賀県看護協会会長表彰」受賞
看護局参事

大山由紀子(右2人目)

6A病棟看護科長

高橋早苗(右端)

5B病棟看護科長

初田聡美(左端)



病院内の出来事

・6月1日(土)

車椅子2台を寄贈いただく

寄贈主様: 滋賀県個人タクシー協同組合様
オムロンクレジットサービス株式会社様



・6月5日(水)

医療法人社団美松会生田病院のドクターヘリ受入
(NPO 法人ドクターヘリサポートセンター滋賀)



・6月6日(木)

車椅子22台を寄贈
いただく

寄贈主様: 森脇洋様



・6月21日(金)

市民病院大学開催
「介護保険てななに？」
地域医療連携室相談員
四方美幸

病院の話題

・6月16日(日)

第5回市民のための「がん」講座
で講演

主 催: 大津赤十字病院

後 援: 大津市

大津市医師会

大津市歯科医師会

大津市薬剤師会

会 場: 大津市民会館 小ホール

テーマ: 「知っておきたいすい臓
がんの危険因子」

院長 片岡慶正



・『大津商工会議所報』に人間ドック・脳ドック紹介記事を掲載

～ご利用いただきやすくなりました～

大津市民病院 人間ドック

人間ドック	脳ドック
●日帰りコース 38,000円	●脳ドックコース 36,000円
●1泊コース 63,000円	●脳 検 査 25,000円

(健康増進法・大津市健康増進法に基づき)

人間ドック+脳検査

●日帰りコース+脳検査 56,000円	●脳検査は、人間ドックと合わせて受けることができます。プラス20,000円でお預けいただけます。
●1泊コース+脳検査 83,000円	

(健康増進法・大津市健康増進法に基づき)

市民とともにある健康・医療拠点

大津市民病院 大津市宮下丁 29-9 TEL 077-522-4607 (代表)

http://www.municipal-hospital.city.tsu.shiga.jp/

●人間ドック・脳ドックの詳細、予約状況は、ホームページでご覧いただけます。
●健康に関するお問い合わせ、ご相談は「健康センター」までお電話ください。

777号(6月25日発行)

・6月29日(土) ICLS 大津市民病院七タコース開催

主催: おうみライフサポート協会

共催: 大津市民病院臨床研修センター

会場: 大津市民病院 9階会議室



病院内の出来事

・7月1日(月) 形成外科標榜 ヘルニア外来開始



・7月4日(木)
医療講習会開催
講師: 松下記念病院
院長 山根哲郎先生
テーマ:
「QI 活動と病院経営」



・7月5日(金)
医療安全研修会開催
講師: 済生会滋賀県病院
副院長 中村隆志先生
テーマ: 「紛争防止・解決
ー医療事故対応ー」



・7月12日(金)
市民病院大学開催
「緩和ケアについて
知っておこう」
がん看護専門看護師
杉江礼子



・7月24日(水)
歩行車と車椅子を
寄贈いただく
寄贈主様: 松村茂樹様



・7月25日(木)
絵画を寄贈いただく
作品名: 『早稲』(油彩 80号)
作者: かとう医院
院長 加藤孝和様
展示場所: 別館2階
エレベーターホール



・7月22日(月)～31日(水)
入院患者満足度
アンケート調査実施
・7月29日(月)・30日(火)
外来患者満足度
アンケート調査実施



・7月30日(火)
3C 病棟 小児病室(8室)
ディズニーキャラクターの
壁紙に張り替え

病院の話題

・7月1日(月)
市民病院オリジナルうちわ作成



・7月5日(金)
第3回大津市民病院
レジデントイブニングフォーラム
開催
会場: コープぜぜ2階ホール



・7月5日(金)
糖尿病公開講座開催
会場: 大津市健康推進課膳所すこやか相談所
糖尿病看護認定看護師 山下亜希



・7月10日(水) 難病医療連携協議会運営会議出席
会場: 大津合同庁舎



・地域みっちゃく生活情報誌『月刊 OZIS(オージス)』8月号
(7月25日発行)に病院紹介記事掲載
発行: ㈱中広



「ピックアップ」



「MEDICAL MAP 2013」

病院内の出来事

- ・8月2日(金) 市民病院大学開催
「日常生活における肝がんのリスクファクター」
院長 片岡慶正医師



- ・8月6日(火)～7日(水)
ISO9001 継続審査受審

FS 81153/ISO(JISQ) 9001



- ・8月7日(水) 夏祭り開催
会場: 9A 病棟 (緩和ケア病棟)



- ・8月22日(木)
市民病院大学開催
「肺結核について」
呼吸器内科診療部長
平沼修医師



病院の話題

- ・7月27日(土), 8月6日(火), 8月20日(火)
大津市民病院付属看護専門学校
オープンキャンパス開催 「MEDICAL MAP 2013」



- ・8月2日(金)
市民病院オリジナルうちわ配布



- びわ湖大津夏まつり 2013
「遊・楽・琵琶湖(YOU LIKE BIWAKO)」
～輪が広がる。心ひとつにつながる。～
会場: 大津港一帯及びびなぎさ公園おまつり広場

- ・8月8日(木) 出前講座開催「感染症について」
会場: 大津市馬場中町自治会館
感染管理認定看護師 松下弘美



- ・8月31日(土)
当院 DMAT 隊員が全国広域医療搬送訓練に参加



病院内の出来事



・9月6日(金)
医療安全研修会開催
 講師: 済生会滋賀県病院
 院長代行 安全管理室長
 中村隆志先生
 テーマ: 「予防的対応・
 日常的患者対応」



・9月12日(木)
 市民病院大学開催
 「歯のいたみについて」
 歯科口腔外科医長
 寺村千俊医師

・9月13日(金) 外来勉強会開催
 テーマ: 「その気にさせるコーチング」
 講師: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
 鈴木孝先生



・9月20日(金)・21日(土)
 研修医リフレッシュ研修開催
 会場: 天台真盛宗総本山
 西教寺



・9月30日(月) あゆっこロード(むつみ寮前歩道)完成



病院の話題



・9月7日(土)
 院内災害医療訓練実施
 会場: 津市民病院
 9階大会議室



・9月14日(土) 「公開講座&けんさ展」に臨床検査部が参加
 主催: 公益社団法人滋賀県臨床検査技師会
 社団法人日本臨床衛生検査技師会
 後援: 滋賀県・大津市・公益財団法人滋賀県健康づくり財団・
 滋賀県赤十字血液センター
 読売新聞大津支局
 京都新聞滋賀本社
 京都新聞 COM
 NHK 大津放送局
 会場: ピアザ淡海 大会議室



・当院 DMAT 隊が台風 18 号被災者救助活動に従事



9月17日(火) 京都新聞

・院内助産が紹介される



9月24日(火) 読売新聞

病院内の出来事

・10月1日(火)

院内助産が2周年を迎える



・10月3日(木)

市民病院大学開催

「がんと化学療法

～消化器がんを中心に」

外来通院手術部診療部長

加納正人医師

・10月4日(金)

感染対策研修会開催

講師:豊島病院

感染症内科医長

足立拓也先生

テーマ:「輸入感染症について」



・10月11日(金)

歩行車を寄贈いただく

寄贈主様:別所秀雄様

・10月24日(木)

市民病院大学開催

「ガンコな腰の痛みについて」

脳神経外科診療部長

高山柄哲医師



・10月31日(木)

病院職員 AED・BLS 研修終了

臨床研修センター主催

医療の質・安全管理室共催

受講者数:820名(平成24年度受講者含む)



病院の話題

・10月1日(火)屋外広告掲出

松本1丁目交差点 JR 瀬田駅(上り線側)

9月24日(火)読売新聞



・10月10日(木)

ゆりかごタクシー(陣痛時タクシー)第1号お出迎え式举行



越市長が台風18号における、
当院 DMAT の被災者救出活動
に謝意を表し、職員を激励

・10月21日(月)

市民病院大学 出前講座開催

於:レイカディア大学同窓会大津支部

「がんの早期発見・早期治療

できればがんで死なないために」

大津市民病院付属看護専門学校

学校長 三澤信一



・10月26日(土)・27日(日)

近畿2府7県合同防災訓練
に当院 DMAT が参加

・救急診療科診療部長 小尾口邦彦医師の著書

『ER・ICU 診療を深める』(発行:中外医学社)が発行される



10
月

病院内の出来事



・11月7日(木)
大津市医師会病院見学会受け入れ
「当院における脳血管内治療
～低侵襲な脳・脊髄手術をめざして～」
講師：脳神経外科医長
横山洋平医師

・11月10日(日)
大津市民病院公開講座開催
「糖尿病 110 番
～糖尿病を知ろう～」



・11月19日(火)
「みんなで取り組む経営改善報告会」開催
資料提供：株式会社サイプレス



・11月21日(木) 感染症訓練実施



・11月29日(金)
看護局公開講座開催
「終末期患者の看護」
がん看護専門看護師
杉江礼子



病院の話題

・11月17日(日)
市民公開講座開催
「家で最期をむかえることー家族の体験・言葉をかりてー」
主催：大津市訪問看護ステーション
(滋賀県医療福祉を守り育てる
月間への参画)
会場：平野市民センター



・11月19日(火)
映画『天のしずく』上映&トークショーに
緩和ケア科診療部長 津田真医師が出席
会場：そごう横浜店 9F・新都市ホール



全国の病院で最期をみと
る「いのちのスープ」が
広がっている。提唱者で
ある料理研究家、辰巳芳
子さんを追ったドキュメ
ンタリー映画「天のしず
く」を見た▼父親の嚥下
障害が発端だった。お粥
に魚、青菜、何もかも一
緒に刻んだ病院食で
最期を閉じさせてはいけ
ない。辰巳さんは手間
と時間をかけたスープを
届け続けた▼映画では大
津市民病院の緩和ケア病
棟が紹介されている。妙

緩和ケア病棟紹介記事平成 24 年 11 月 21 日(水)
京都新聞『凡語』

映画『天のしずく』辰巳芳子「いのちのスープ」



病院内の出来事

・1月1日(水)

総合医療情報システム(電子カルテ)稼働

・1月14日(火)

3Dフラットパネル・バイプレーン搭載

頭・腹部用血管造影装置稼働



・1月14日(火)・15日(水)・21日(火)・27日(月)

コンプライアンス職員研修会開催



講師:

有限責任監査法人

トーマツ

公認会計士 額額和雅氏

・1月24日(金)

第3回病院標語キャンペーン 最優秀標語決定

「“おだいに”心を癒す おもてなし」

(病院総務課 足立延宏)

「ガンバロウ 手術終われば 早期リハ」

(病院総務課 安藤豊久)

・1月28日(火)

一般財団法人

日本栄養療法推進協議会より、

「NST稼働施設」認定取得



・「年間優秀臨床研修活動賞」受賞(臨床研修センター推薦)

救急診療科部長

小尾口邦彦

血液浄化部副科長

中里玉美

3C病棟主査

奥村紀子

臨床研修センター兼務病院総務課主査

高橋純子



賞状と副賞

病院の話題

・滝本とも子研修医の原稿が
掲載される

滋賀県病院協会報 新年号



・1月6日(月) 平成25年度 大津市職員表彰受賞式

会場: 大津市役所別館大会議室

「永年勤続会長表彰」

歯科口腔外科医長 寺村千俊

6B病棟主査 西村洋美

7A病棟主査 川崎美佐子

9A病棟主査 河村香織

「功労賞」

大津市民病院災害派遣医療チーム(DMAT)

※本年9月16日の台風18号にかかる石場での救命救急活動に対して

・脳神経外科診療部長 高山柄哲医師が紹介される



1月12日(日)読賣新聞



・頭・腹部用血管造影装置が
紹介される



1月19日(日)毎日新聞

・1月26日(日) 公開講座「健康診断 検査データの見方」に

臨床検査部が参加

主催: 公益社団法人滋賀県臨床検査技師会

社団法人日本臨床衛生検査技師会

後援: 滋賀県・彦根市・

公益財団法人滋賀県健康づくり

財団・京都新聞滋賀本社・

京都新聞COM・

読売新聞大津支局・

NHK 大津放送局

会場: ビバシティ彦根 2階研修室



病院内の出来事

・2月6日(木)難病研修会

講演「脊椎・脊髄神経難病の予防と対策」

講師：大津市民病院

脳神経外科診療部長

高山柄哲 医師



講演「消化器難病について」

講師：大津市民病院

消化器内科診療部長

若林直樹 医師



・第2医局・研修医室拡張工事竣工



・2月26日(水)褥瘡研修会開催

講演：「装具関連の褥瘡予防」

講師：リハビリテーション部 槻本理学療法士

川村義肢株式会社

病院の話題

・2月23日(日) 平成25年度(第33回)滋賀県病院大会

「優秀職員表彰」

訪問看護ステーション 所長 古田恵美子

「永年勤続表彰」

診療局 次長

高橋良樹

小児科 診療部長

中嶋敏宏

リハビリテーション部 主査

柴田奈緒美

3B病棟 主査

山本綾子

3B病棟 主任

瀧石阿希

3C病棟 職員

熊谷早苗

5B病棟 看護科長

初田聡美

5B病棟 主任

西村さつき

6B病棟 主任

大橋有希

6B病棟 主任

山本芳子

9A病棟 主任

森田めぐみ

9A病棟 主任

澤田依子

9A病棟 主任

岩下栄里子

外来部 主査

山下亜希

集中治療部 主任

平田康之

看護局付 主任

平田礼奈

付属看護専門学校 主任

合原建美

・2月28日(金)

NHK大津「おうみ発610」で

しもやけの予防・対処について

皮膚科診療部長 末廣晃宏への

取材が放送される。



2
月

病院内の出来事

・3月6日(木)第15回総合内科症例検討会

症例:「口渇、多飲を主訴に
受診した若年男性の1例」
提示:富田一聖医師(内科)



・3月21日(金)・22日(土)

医療メディエーター養成研修会開催



・3月27日(木)

ボランティアさんによるコンサート開催。
会場:本館棟1階正面玄関ロビー



演奏:はぴーベア&
ストロベリー

※ステージ装花:
病院ボランティア
浜田辰郎さん



・3月28日(金)研修医修了認定式



病院の話題

・3月1日(土)

大津市民病院附属看護専門学校 第28期生 卒業式



・3月6日(木)

びわ湖放送「なるほど!看護TV」で看護の仕事や魅力について
8A病棟 宮川真人看護師への取材が放送される。

・当院DMATが紹介される

3月23日(日)産経新聞



・3月29日(土)「日本医事新報 No. 4692」

特集: Caution! 臨床検査値の落とし穴
「Case32 報告(全160項)の中で、
Case17(意識障害と高Ca血症)」
について掲載される。

執筆:高谷季穂医師
(総合内科)



広報おおつ

平成 25 年度の『広報おおつ』（毎月 1 日・15 日発行）から、当院に関する記事を抜粋し、まとめました。

当院の取り組みや新しい事業について、より多くの市民の皆様積極的にかつ正確に情報を発信しています。

情報ひろば

「健康ひろば」は、市民の皆様が健康増進や生活習慣病の予防、健康維持のために必要な情報を得るための場です。毎月 1 日・15 日発行の『広報おおつ』に掲載しています。

健康ひろばでは、市民の皆様が健康増進や生活習慣病の予防、健康維持のために必要な情報を得るための場です。毎月 1 日・15 日発行の『広報おおつ』に掲載しています。

NO	講座名
31	こころの健康づくり
32	伝承あそび
33	大津市民病院大学（市民健康講座）
34	ウォーキングから始める 元気なまち大津

4 月 15 日号 (P11)

NO	講座名	NO	講座名	NO	講座名	NO	講座名
1	健康に明るい未来を築くために	31	こころの健康づくり	61	健康に明るい未来を築くために	91	健康に明るい未来を築くために
2	健康に明るい未来を築くために	32	伝承あそび	62	健康に明るい未来を築くために	92	健康に明るい未来を築くために
3	健康に明るい未来を築くために	33	大津市民病院大学（市民健康講座）	63	健康に明るい未来を築くために	93	健康に明るい未来を築くために
4	健康に明るい未来を築くために	34	ウォーキングから始める 元気なまち大津	64	健康に明るい未来を築くために	94	健康に明るい未来を築くために
5	健康に明るい未来を築くために			65	健康に明るい未来を築くために	95	健康に明るい未来を築くために
6	健康に明るい未来を築くために			66	健康に明るい未来を築くために	96	健康に明るい未来を築くために
7	健康に明るい未来を築くために			67	健康に明るい未来を築くために	97	健康に明るい未来を築くために
8	健康に明るい未来を築くために			68	健康に明るい未来を築くために	98	健康に明るい未来を築くために
9	健康に明るい未来を築くために			69	健康に明るい未来を築くために	99	健康に明るい未来を築くために
10	健康に明るい未来を築くために			70	健康に明るい未来を築くために	100	健康に明るい未来を築くために
11	健康に明るい未来を築くために			71	健康に明るい未来を築くために		
12	健康に明るい未来を築くために			72	健康に明るい未来を築くために		
13	健康に明るい未来を築くために			73	健康に明るい未来を築くために		
14	健康に明るい未来を築くために			74	健康に明るい未来を築くために		
15	健康に明るい未来を築くために			75	健康に明るい未来を築くために		
16	健康に明るい未来を築くために			76	健康に明るい未来を築くために		
17	健康に明るい未来を築くために			77	健康に明るい未来を築くために		
18	健康に明るい未来を築くために			78	健康に明るい未来を築くために		
19	健康に明るい未来を築くために			79	健康に明るい未来を築くために		
20	健康に明るい未来を築くために			80	健康に明るい未来を築くために		
21	健康に明るい未来を築くために			81	健康に明るい未来を築くために		
22	健康に明るい未来を築くために			82	健康に明るい未来を築くために		
23	健康に明るい未来を築くために			83	健康に明るい未来を築くために		
24	健康に明るい未来を築くために			84	健康に明るい未来を築くために		
25	健康に明るい未来を築くために			85	健康に明るい未来を築くために		
26	健康に明るい未来を築くために			86	健康に明るい未来を築くために		
27	健康に明るい未来を築くために			87	健康に明るい未来を築くために		
28	健康に明るい未来を築くために			88	健康に明るい未来を築くために		
29	健康に明るい未来を築くために			89	健康に明るい未来を築くために		
30	健康に明るい未来を築くために			90	健康に明るい未来を築くために		

5 月 15 日号 (P2)

みんなでつくる みんなの天津

テーマは 子どもが輝く まちづくり

市長と語る「笑顔のさわやかミーティング」

参加グループ・団体を募集

市長がみなさんと気軽に意見を交わす「笑顔のさわやかミーティング」。今回のテーマは、「子どもが輝くまちづくり」です。当事業は、みなさんとの対話の中で出された意見やご提案を市政に反映するとともに、市民への理解も深めていただくことを目的としています。

※対象：1地域で何組かが活動を行っているグループ（趣味・市内在住が希望、在学中・子育て中の人で構成され、当事業の開催に合ったグループ・団体（政治・宗教・派閥・利権目的としたグループ・団体を除く）

※全席定員：10席（会場は原則としてグループ・団体で出席者15人～30人程度のグループ・団体で参加は9時～17時のうち1時間程度（土・日・祝日・祝祭日も実施）

※申込方法：5月15日（水）9時以降に直接または電話で希望組に申し込むか、グループ・団体を組んだ場合は、お送りする用紙にもありますのでご了承ください。

※申込先：市民相談課 ☎528-2668

協働を進める三者委員会の委員を募集

市では、協働によるまちづくりを推進するため、市民・市民団体・事業者、市の三者で構成する「大津市協働を進める三者委員会」を設置しています。

このほか、当該委員会と関係の深い委員を募集します。

当委員会では、協働推進計画について、また協働推進の評価や提案、協働事業の推進等に関して調査研究を行い、市へ意見をいただきます。なお、当該委員会は市の公募により選ばれた委員と学識経験者などから選ばれた委員（計15人以内）で構成されます。

※対象：市内在住、在勤、在学中の平成25年5月15日現在、18歳以上の人（国や地方公共団体の議員や職員、市が設置する審議会などの委員に委嘱されている人を除く）

※募集人数：2人（委員および監事選考の上決定）

※活動：月8回程度開催する会議に出席（報酬あり）

※任期：平成25年7月25日～平成27年7月24日

※応募方法：応募用紙（同封の協働推進計画）を、先かホームページからダウンロードも可）に必要事項を記入し、市のこれからのまちづくりに必要とすることや「市民・市民団体、事業者および市の三者」の役割、大津市「協働のまちづくり推進条例」を適用していただけることについての意見や提案などを1,200字程度でまとめた意見書（書式用紙）を送って、6月3日（月）16時までに郵送または直接、同封へ。

※応募期限：6月3日（月）16時

※お問い合わせ：市民相談課 ☎528-2730 ☎528-0411

※受付：1130@city.tsu.lg.jp

大津市民病院（患者総合支援センター）「患者相談支援室」を開設

大津市民病院では、当院をご利用いただく患者さんや家族が、安心して治療を受け、より快適な生活を送っていただくために、患者総合支援センターの一つの機能として「患者相談支援室」を4月15日に開設しました。

患者相談支援室では、相談者の抱え持っている悩みやがんと向きあふこと、必要に応じて必要な支援をさせていただきます。がんやさまざまな病気に関する不安や悩みの相談に、看護部

や臨床心理士など専門スタッフが対応します。また、がん治療の経過などの情報提供を始め、くつろぎながら資料などが閲覧できる場所や患者さん・家族の交流の場を提供します。患者さんや家族を始め、市民のみなさんにもご利用いただけますので、お気軽にご利用ください。

※場所：大津市民病院本館1階（正門玄関左手）

※時間：月～金曜日（祝祭日を除く）、8時30分～17時（がん相談）は原則予約制

※相談料：無料です。

※お問い合わせ：大津市民病院患者総合支援センター患者相談支援室 ☎522-4607

曜日	がん相談		総合相談（8時30分～17時）
	時間	内容	
月	14時～15時	がんに関するお悩みの相談	● 病状に関する不安や心配 ● がんの症状に関すること ● セカンドオピニオンに関すること ● 在宅医療、介護に関すること ● 治療など意思決定に関すること ● その他、お悩みごと
火	14時～15時	がんの療養生活や緩和ケアに関する相談	
水	13時～14時	リンパ浮腫相談（リンパドレナージ施術を含む）	
木	14時～15時	がんの手術に関する相談	
金	15時～16時	こころの相談	
土	15時～16時	食事・食生活の相談	

※「がん相談」は、がん専門医による専門スタッフの対応をさせていただきます。
 ※「がん相談」は、原則予約制となります。ご希望の方は、お電話または直接お問い合わせください。ただし、予約がなくても相談室によっては対応可能な場合があります。また、がん相談は、週1回1回1時間15分程度です。

6 月 1 日号 (P9)

大津市民病院大学（健康講座）

★期日・内容：下表のとおり
 ★会場：大津市民病院

開催日	テーマ	講師
6月21日（金）	介護保険について	地域医療連携室相談員
7月12日（金）	緩和ケアについて知っておこう	杉江礼子 がん看護専門看護師
8月2日（金）	日常生活におけるがんのリスクファクター	片岡慶正 大津市民病院院長
8月22日（木）	COPD（慢性閉塞性肺疾患）について	平沼修 呼吸器内科診療部長
9月12日（木）	歯科用インプラントについて	寺村千俊 歯科口腔外科部長
10月3日（木）	がんと化学療法～消化器がんを中心に	加納正人 外科学部手術部診療部長
10月24日（木）	ガンコな癌の痛みについて	高山耕吾 脳神経外科診療部長

★時間 14時～15時
 ★定員 各先着65人 ★受講料 無料
 ※開講各開催日の当日までに電話または直接、同病院地域医療連携室☎526-8192（月～金曜日13時～17時）へ

催しガイド

青箱しょうぼう隊の教室

※日時：6月、8月、10月の11日（月）～12日（火）
 ※会場：青箱しょうぼう隊（大津市）
 ※対象：小学生（4～6年生）
 ※定員：各20名
 ※申込：5月20日（水）まで
 ※お問い合わせ：市民相談課 ☎528-2668

親子メタボ教室

※日時：6月、8月、10月の11日（月）～12日（火）
 ※会場：大津市民病院（大津市）
 ※対象：小学生（4～6年生）
 ※定員：各20名
 ※申込：5月20日（水）まで
 ※お問い合わせ：市民相談課 ☎528-2668

災害生活力アップ大津校

※日時：6月、8月、10月の11日（月）～12日（火）
 ※会場：大津市民病院（大津市）
 ※対象：小学生（4～6年生）
 ※定員：各20名
 ※申込：5月20日（水）まで
 ※お問い合わせ：市民相談課 ☎528-2668

健康守り隊「いもいも」の教室

※日時：6月、8月、10月の11日（月）～12日（火）
 ※会場：大津市民病院（大津市）
 ※対象：小学生（4～6年生）
 ※定員：各20名
 ※申込：5月20日（水）まで
 ※お問い合わせ：市民相談課 ☎528-2668

一泊二日アサヒ大津校

※日時：6月、8月、10月の11日（月）～12日（火）
 ※会場：大津市民病院（大津市）
 ※対象：小学生（4～6年生）
 ※定員：各20名
 ※申込：5月20日（水）まで
 ※お問い合わせ：市民相談課 ☎528-2668

大津市アサヒ大津校

※日時：6月、8月、10月の11日（月）～12日（火）
 ※会場：大津市民病院（大津市）
 ※対象：小学生（4～6年生）
 ※定員：各20名
 ※申込：5月20日（水）まで
 ※お問い合わせ：市民相談課 ☎528-2668

いきいき子育てフォーラム

※日時：6月、8月、10月の11日（月）～12日（火）
 ※会場：大津市民病院（大津市）
 ※対象：小学生（4～6年生）
 ※定員：各20名
 ※申込：5月20日（水）まで
 ※お問い合わせ：市民相談課 ☎528-2668

認知症の人を介護する

※日時：6月、8月、10月の11日（月）～12日（火）
 ※会場：大津市民病院（大津市）
 ※対象：小学生（4～6年生）
 ※定員：各20名
 ※申込：5月20日（水）まで
 ※お問い合わせ：市民相談課 ☎528-2668

企業内健康講座

※日時：6月、8月、10月の11日（月）～12日（火）
 ※会場：大津市民病院（大津市）
 ※対象：小学生（4～6年生）
 ※定員：各20名
 ※申込：5月20日（水）まで
 ※お問い合わせ：市民相談課 ☎528-2668

大津市民病院大学（健康講座）

★期日・内容：下表のとおり

開催日	テーマ	講師
6月21日（金）	介護保険について	地域医療連携室相談員
7月12日（金）	緩和ケアについて知っておこう	杉江礼子 がん看護専門看護師
8月2日（金）	日常生活におけるがんのリスクファクター	片岡慶正 大津市民病院院長
8月22日（木）	COPD（慢性閉塞性肺疾患）について	平沼修 呼吸器内科診療部長
9月12日（木）	歯科用インプラントについて	寺村千俊 歯科口腔外科部長
10月3日（木）	がんと化学療法～消化器がんを中心に	加納正人 外科学部手術部診療部長
10月24日（木）	ガンコな癌の痛みについて	高山耕吾 脳神経外科診療部長



写真で見る大津のこの1年

平成25年(2013年)

今年を振り返り……

いじめ対策について、1月の第三期調査委員会報告書の内容を基に、市議会が2月に可決いただきました『大津市子どものいじめ防止に関する条例』に基づいて4月から市長官邸内に『いじめ対策推進室』の設置や常設の第三者委員会である『大津市子どもをいじめから守る委員会』の設置などの体制を整備して、総合的ないじめ対策をスタートさせました。現在、『いじめの防止に関する行動計画』を策定中であり、いじめ防止に向けてできる限りの取り組みを進めています。

また、8月には、台風18号の影響により、全国で初めての特別警報が発令されるなか、住宅の全壊3世帯、半壊7世帯、一部損壊22世帯、床上浸水7世帯、床下浸水12世帯となるなど、甚大な被害が発生しました。改めて、ここに被災されましたみなさまに心よりお見舞いを申し上げます。被害も恒久的な。災害復旧に向けて全力で取り組んでいます。

一方、平成25年度は、私のマニフェストを基盤とした総合計画第3期実行計画をスタートいたしました。『笑顔あふれる元気な大津』をスローガンに、『子育て支援』、『観光振興』、『行政改革』などの分野を重点施策として位置づけ、達成のあるまちづくりを目指して取り組んでまいりました。

市民のみなさまには、この一年間、市政へのご理解とまちづくりへの協力を賜りありがとうございます。来年も、どうか健康には十分ご注意ください。良い明年をお過ごしください。

大津市長 越 直美



1月 January	8日・津田町北地区医療圏表より17 (各病) 総合医療圏内医療支援施設
2月 February	14日・津田町北地区医療圏表より17 (各病) 総合医療圏内医療支援施設
3月 March	14日・津田町北地区医療圏表より17 (各病) 総合医療圏内医療支援施設
4月 April	14日・津田町北地区医療圏表より17 (各病) 総合医療圏内医療支援施設
5月 May	14日・津田町北地区医療圏表より17 (各病) 総合医療圏内医療支援施設
6月 June	14日・津田町北地区医療圏表より17 (各病) 総合医療圏内医療支援施設

15日・大津市民病院 患者相談支援室を開設

1日・大津市民病院 (健診センター) 脳ドックを開始

編集後記

今年は、例年になく豪雨の年として記憶されることと思います。そして、これまでで最も早く年報が完成しました。これで第 3 号ですが、今後もこのペースで毎年毎年の大津市民病院の足跡を記録して行ければと思います。

この時点で県内 2 番目の da Vinci が既に稼働しロボット手術の時代に足を踏み出しました。最先端の放射線治療棟の完成も間近です。後々振り返ったときに、豪雨の年であるとともに、大津市民病院の一つの区切りの年として記憶されていることでしょう。

年報を作成するにあたり、前年の診療データを提出いただくわけですが、広報委員会にご提出いただければ、病院ホームページのデータもリニューアルされるようにシステムを作っていきたいと思います。来年もご協力をお願いします。

大津市民病院 病院年報

平成 25 年度（2013 年度）

編集・発行 大津市民病院 広報委員会
〒520-0804
大津市本宮二丁目 9 番 9 号
TEL (077)522-4607(代)
FAX (077)521-5414
URL <http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>



大津市民病院
Otsu Municipal Hospital